

# 復興応援団 だより

## 南三陸町・多賀城市で防災減災スタディツアー

3月15日(土)16日(日)に、相鉄不動産株式会社(株)の社員12名、今回の主催者である株式会社エーエヌエーから2名の計14名を対象とする防災減災スタディツアーをコーディネートしました。

1日目は南三陸町、2日目は多賀城市を訪問しました。まず、大震災直後の様子や、大震災直後の状況を比較しながら、現在の状況を比較しながら、それぞれの地域で現地視察を行いました。視察を終えた後、

南三陸町では、志津川小学校にて避難所運営に尽力された阿部忠彦さん、多賀城市



市では、巨大なマンション群から構成される東田中自治会の西亨さんほか1名の方にお話を伺いました。地域によって被災状況と避難生活のあり方も異なることから、もし震災が起きたらどうすればよいかという問いに対し、参加者一人一人が、自分の仕事と家庭の双方を見つめ直しつつ考えている姿がとても印象的でした。(東北大学 倉持菜津子)

## 仙台市の大学生

3月21日(水)、仙台市内の大学生10名を対象とする「多賀城市スタディツアー」をコーディネートしました。午前中は、都市型津波の被害や復旧の様子を、復旧現場を視察し、午後からは、開館2周年を迎えた多賀城市立図書館を訪問しました。

## 多賀城市立図書館の魅力を知る

庫などを見学しました。そして、仙台発のメジャーバンド「アンテナ」の開催、周年記念ライブ観賞後、利用登録者数を増やすための取り組みや、図書館の役割をお話しました。意見交換会を行いました。参加者からは利用者の視点に立つた多種多様な考えが生まれ、大いに盛り上がりました。震災で得た学びを伝えることに加え、復興のシンボルと呼ばれる多賀城市立図書館



書館をはじめとする地域の魅力を広める活動を、今後とも続けていきます。(東北大学 川瀬真喜子)

2018.5/N072  
発行元：一般社団法人復興応援団  
代表：佐野哲史  
広報チーム  
090-1398-3510

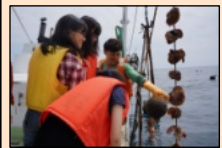
## 新体制のご挨拶

いつも「復興応援団だより」をお読みいただき、ありがとうございます。今月号より編集チームが入れ替わり、新体制での制作になります。「復興応援団だより」は、2017年4月に発行を始めて、4月でまる6年、今号から7年目に入りました。ここまで続けてこられたのは、読者のみなさまに愛読いただき、常

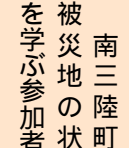
に支えられてきたからこそだと思えます。情熱と誇りを持って、編集に真摯に取り組まれた先輩方の思いを引き継ぎ、今後も読者のみなさまに明るい気持ちになっただけで生活のお役に立てる分かります。情報誌をお届けしていく所存です。これからも変わらぬご愛顧のほど、よろしくお願ひ申し上げます。(東北大学 上原央睦)

## 復興応援団とは？

私たちは「地元の力が主役の復興」を目指し、主に南三陸町と多賀城市で活動しています。南三陸町では、地元の復興の担い手の元に全国からボランティアを派遣。復興のお手伝いを通じて南三陸町の魅力に触れてもらい、中長期的に復興を支える「ファン」になつてもらおう取り組みをしています。多賀城市では、2012年4月より「復興応援団だより」を仮設住宅全戸にお届



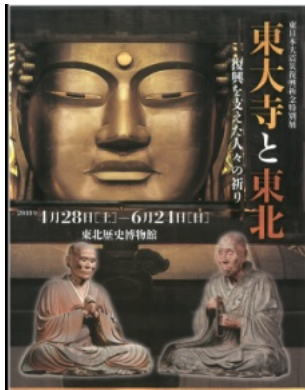
南三陸町で被災地の状況を学ぶ参加者



多賀城市で復興応援団だよりを配布するスタッフ

# 今日から『東大寺と東北』展！！

いよいよ今日から「東大寺と東北」展が始まります！今回は先月号に引き続き、さらに詳細情報や見どころをご紹介します！



## 見どころ紹介

今回の展覧会では国宝17点、重要文化財25点を含む、東大寺の寺宝や史料が東北で初めて一堂に公開されます。

その中でも見どころは752年の大仏開眼会頃に造られた国宝の「誕生釈迦仏立像及び灌仏盤」！これは右手を挙げて立っている仏像で、釈迦が生まれた直後の姿をあらわしています。毎年4月8日に行なわれる、釈迦の誕生を祝う花祭りの誕生仏として用いられていました。

本展は東大寺の復興と東北との関わりを重視した構成にもなっています。戦国時代の焼失を受けた江戸復興の際には公慶上人が東北をはじめ全国で勧進を集めました。本展ではその「公慶上人坐像」（重要文化財）も展示されています。

### ○開催日時

4月28日(土)~6月24日(日)

9:30~17:00 (入館は16:30まで)

### ○休館日

毎週月曜日(ただし、4月30日は開館)

### ○開催場所

東北歴史博物館 多賀城市高崎1-22-1

### ○観覧料

一般	...	1,500円
小・中・高校生	...	600円
シルバー(65歳以上)	...	1,300円

### ○お問い合わせ

東北歴史博物館 TEL: 022-368-0106

### 臨時バスが運行されます！

JR仙石線 多賀城駅南口、9時~16時の  
毎時0分発(12時は運休)

200円、会期中の土日祝と6/16~24運行

## 復興応援団『東大寺展日帰りツアー』のお知らせ

### 『東大寺展×極上の日本茶』 日帰りツアー

5月13日(日) 13:00~16:30

5月19日(土) 13:00~16:30

参加費 4,000円(税込)



東大寺展観覧料、地元老舗お茶屋での  
日本茶飲み比べ体験料、貸切バス代等含む  
東大寺展の前売券をお持ちの方は  
1,500円引き

### 『東大寺展×天平ろまん館×砂金採り』 日帰りツアー

5月26日(土) 11:30~18:00

5月27日(日) 9:30~16:00

参加費 6,000円(税込)

東大寺展観覧料、昼食代、天平ろまん館観覧料、  
砂金採り体験料、貸切バス代等含む  
東大寺展の前売券をお持ちの方は  
1,500円引き



詳細情報は、近日中にチラシにてお知らせします！

お問い合わせは090-1398-3510(担当:佐野)まで！

企画・運営：一般社団法人復興応援団 主催：株式会社立志社 宮城県知事登録旅行業第2-384号 全国旅行業協会正会員

## 『多賀・光の多面体』 古代と現代を結ぶオペラティックナイト

多賀城で没したとされる大伴家持と、山口女王との相聞を主軸に、プロの能楽師、日本舞踏家、ダンサー、オペラ歌手、和洋織り交ぜた各種楽器の演奏者、光のアーティストがコラボレーション！古代で大切にされた価値、自然観・美意識・心のありようなどの、いわゆる「もののはれ」に触れることができます。

日 時：5月4日(金・祝)、5月5日(土・祝)  
18:30~20:30 (2夜、別プログラム)  
当日は21:30まで開館  
(最終入館は21:00)

会 場：東北歴史博物館 水上ステージ前  
参加費：無料(ただし、本展の観覧券が必要)



## 川柳募集

テーマ：「マイブーム」

今月号でも川柳を募集します！たくさんのご応募お待ちしております。

### 《応募方法》

お住まいの公営住宅の名前 ペンネーム  
年齢・性別・職業(任意) 川柳 を明記の上、次の2つの応募方法の中から一つ選んでご応募ください。宛先は「復興応援団・川柳係」でお願いします。

1)はがきの投函

〒988-0423

宮城県本吉郡南三陸町歌津字柗沢83 6 205

2)Eメールの送信

fukkou.senryu@gmail.com

締め切り：5月20日(日)必着

## 今後の予定

○団だより6月号  
5月27日(日)配布